

D級ポンプの取扱要領



D級ポンプ一式（台車付き）



D級ポンプ（本体）

ポンプ各部の名称

40ミリホース

D級ポンプ

台車



吸 管

吸管
ストレーナー

車輪止

点火プラグ

放 口

放口レバー

圧力計

スロットル
レバー

吸管取付口

排水コック



燃料タンク
(混合 30 : 1)

吸水レバー

スターター
(引手)

燃料コック

停止ボタン

燃料ドレン
レバー

D級ポンプ資機材一覧

D級ポンプ本体		吸 管	
			
2サイクルエンジン (燃料混合比30:1)		吸水用吸管 (長さ3m)	
ホース	筒先	消火栓かぎ	
			
40ミリホース (長さ20m)	直射・噴霧・停止 の切替ができる	防火水槽の蓋を開ける時に 使用する	

1 【D級ポンプの使用目的】

自治会・町会に配置しているD級ポンプは、地震等に発生した火災から人命や延焼を阻止するために配置していますので、日頃からの点検や訓練に心がけてください。

2 【エンジンの始動要領】



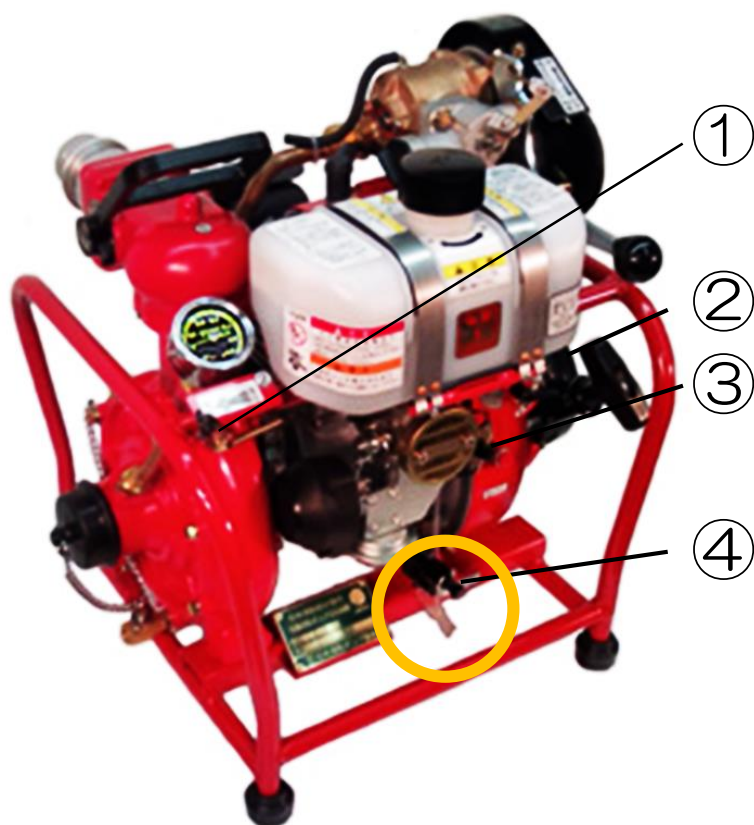
- ① 燃料コックを「開」にする。
- ② スロットルレバーを「始動」の位置にする。
- ③ 引手を引いてエンジンを始動します。

※ 始動前にキャブ内に燃料を十分送り込んでください。



指先でポンピングしてキャブ内に燃料を送り込みます。

3 【エンジンの停止要領】



- ① スロットルレバーを「低速」の位置にする。
- ② 燃料コックを「閉」にする。
- ③ 停止ボタンを押してエンジンを停止させる。
- ④ 燃料ドレンレバーを引き燃料コック内の燃料を抜き取る。



燃料ドレン
レバー

注意

燃料ドレンレバーを引くと燃料が全部流れ落ちます。
※ 必ず燃料コックが「閉」になっていることを確認してください。

4 【吸水要領】



- ④ 吸管を取付けた後、真空ポンプレバーを吸水側に上げる。
(エンジン回転は高くする。)
吸水が完了すると止水弁側から水が排出したら真空ポンプレバーを放水方向に戻す。
- ⑤ 放口ロックレバーを徐々に「開」の方向に開き放水する。
※ 放水開始後は圧力計を見ながらエンジン回転を調整します。



吸管とホースの取付け状態




防火水槽に吸管を挿入した吸水完了状態

5 【維持管理】

ポンプが「故障かな？」と思ったときは、次の事項をチェックしてください。

1) エンジンが始動しない

	チェックポイント	対応策
1	<ul style="list-style-type: none">燃料が黒ずんでいる (2サイクルオイルの量が多い。)	燃料の交換 【混合比30：1】 (市販されている混合燃料も可能) 
2	<ul style="list-style-type: none">燃料コックが開いていないキャブレターまで燃料が回っていない	燃料コックの確認 燃料ポンプレバーをポンピングし燃料を送る
3	<ul style="list-style-type: none">点火プラグの点検	点火プラグの交換 (純正プラグを使用)
4	<ul style="list-style-type: none">エンジンが始動しても回転が上がらないエンジンがすぐ止まる	燃料の詰り又はキャブレター不良 (担当課に連絡)
注	使用後は、燃料コックを「閉」に戻し燃料ドレンレバーを引いて燃料を抜取る。その後、スターターロープを引いてエンジンが始動しないことを確認してください。	

2) 放水できない

症状及び状況		対応策
1	<ul style="list-style-type: none"> 真空ポンプレバーを作動しても吸水できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 防火水槽に水がない。 吸管が水の中に入っていない。 ポンプ排水コックが閉じているか確認する。 真空ポンプの故障
2	<ul style="list-style-type: none"> 吸水完了後、放水しても圧力が上がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> キャブレッター不良によりエンジン回転が上がらない。 吸管結合部のゆるみ又は吸管ふじ籠部分にゴミ等が付着している。 放口の排水コックが開いている。 ホースの破損又はホースが結合されていない。 止水弁の故障
3	<ul style="list-style-type: none"> ポンプ本体の故障 	<ul style="list-style-type: none"> 業者による修理が必要

※ これらをチェックしても改善しない場合は、大田区防災危機管理課（5744-1611）まで連絡してください。

6 【消火用水等】



左に示す標識がある公園等には、消火用水として防火水槽や5t水槽が設置されています。